

<b>留 学 報 告 書</b>
------------------

記入日： 年 月 日

所属学部／研究科・学科／専攻	理工学部機械情報工学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文： カリフォルニア大学バークレー校 現地言語： University of California at Berkeley
留学期間	2017年5月～2017年8月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2017年8月29日
明治大学卒業予定年	2020年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月中旬-12月中旬 2学期:1月上旬-5月上旬 3学期:5月中旬-8月中旬 (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	約4万人
創立年	1868年

留学費用項目	現地通貨 (米ドル)	円	備考
授業料	\$6,600	759,000円	
宿舍費	\$4,316	496,340円	
食費	\$500	57,500円	
図書費	\$30	3,450円	
学用品費	\$30	3,450円	
教養娯楽費	\$600	69,000円	
被服費	\$300	34,500円	
医療費		円	
保険費	\$238.52	27,430円	形態:
渡航旅費	\$896.52	103,100円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
<b>合計</b>	<b>\$13,511</b>	<b>1,553,770円</b>	1ドル115円で計算

## 渡航関連

**渡航経路:**羽田-ロサンゼルス-サンフランシスコ

渡航費用

チケットの種類	往復航空券
往路	¥51,550
復路	¥51,550
合計	¥103,100

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

web サイト“e-tour”

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

寮

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数1人)

3)住居を探した方法:

Facebook での先輩方のアドバイス

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

寮はキャンパス内に位置し立地はよく、様々な国籍の方々とコミュニケーションを取る機会が多くありました。

## 現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？

利用する機会が無かった

利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

特に問題はありませんでした。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

多額の現金は持ち歩かないようにしていました。巧みな話術で現金を奪い取ろうとする詐欺によく出会いましたが、一切相手にせずその場を立ち去りました。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能だったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮のwifiはある程度協力ですし、キャンパス中にwifiがつながっていました。私は現地でsimカードを手に入れて利用していたので何不自由なく過ごせました。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか？(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

盗難された時のことも考えチャージして使用できるカードを主に利用していました。また、予備としてクレジットカードとデビットカードも携帯していたので支払いは常にカードで、現金を使うことはほとんどありませんでした。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

母国語日本語で書かれた参考書類。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

渡航前授業を履修する際に単位数に応じた授業料を支払いました。

## 卒業後の進路について

1) 進路

<input type="checkbox"/> 就職	<input checked="" type="checkbox"/> 進学	<input type="checkbox"/> 未定	<input type="checkbox"/> その他:
<b>2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など</b>			
大学院に進学したいという漠然とした思いがあるだけでまだ検討中です。			
<b>3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)</b>			
※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。			
<b>4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。</b>			
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)			
※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。			
<b>5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。</b>			
大学院に進学したいという漠然とした思いがあるだけでまだ検討中です。			
<b>6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。</b>			
なるべくはやい段階でより多くの情報収集をして疑問点をなくすこと。必要なスコアなどを早い段階で取得すること。できる限り高い GPA を維持すること。			
<b>7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。</b>			

### 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

<b>1)留学先で取得した単位数合計</b>	<b>本学で認定された単位数合計</b> ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
6 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
<b>2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。</b>	
<b>履修した授業科目名(留学先大学言語):</b>	<b>履修した授業科目名(日本語):</b>
Fundamentals of Guitar Performance	ギターパフォーマンスの基本
<b>科目設置学部・研究科</b>	音楽学部
<b>履修期間</b>	5/22-6/30
<b>単位数</b>	2
<b>本学での単位認定状況</b>	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
<b>授業形態</b>	実践型(チュートリアル, 講義形式等)
<b>授業時間数</b>	1週間に120分が3回
<b>担当教授</b>	Michael K. Goldberg
<b>授業内容</b>	ギターのチューニング、ピッチの基本やリズムの読み方、メロディとコードの弾き方を含めたギターパフォーマンスの基本。
<b>試験・課題など</b>	中間試験と期末試験が一回ずつ。
<b>感想を自由記入</b>	最初は留学してすぐの授業だったので英語が全く聞き取れず驚いたが、徐々に耳は慣れて、ギターの授業であったこともありすぐに馴染むことができた。
<b>履修した授業科目名(留学先大学言語):</b>	<b>履修した授業科目名(日本語):</b>
The Structure and Interpretation of Computer Programs	コンピュータプログラムの構造と解釈
<b>科目設置学部・研究科</b>	コンピュータサイエンス学部
<b>履修期間</b>	6/19-8/11

単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、演習、ディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が8回
担当教授	Kevin Lin, Stanfield C. Chu
授業内容	プログラミングとコンピュータサイエンスの導入。様々な段階から抽象的な技術に触れる。
試験・課題など	中間試験と期末試験が一回ずつ。大きなプロジェクトが4つ。ホームワークが週に2つ。ラボラトリで課せられる宿題が週に2つ。
感想を自由記入	この科目を履修するために今回パークレーでの留学を選んだが、授業のレベルは非常に高く毎日ついて行くのに必死だった。課題のレベルも高く毎日難問と格闘していた。自分のレベルの低さ、勉強に対する姿勢の甘さに気付かされた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Python Fundamentals for Data Science	データサイエンスにおけるパイソンの基本
科目設置学部・研究科	情報学部
履修期間	6/5-8/11
単位数	4
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Denis Vrdoljak
授業内容	プログラミング言語 Python の速いペースでの導入
試験・課題など	中間試験、期末試験、週一つの課題
感想を自由記入	今回の留学では上記のコンピュータサイエンスの科目に重きをおくことを決めており、この科目も同時に履修するとなると課題だけでなく予習や復習ですら追いつかなくなり、両方の単位取得が見込めないと判断したため、速い段階でこの科目の単位を取得することを諦めました。

### 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2016年 1月～3月	授業科目の履修、寮の予約、航空券の手配
4月～7月	学生ビザ取得、渡航、中間試験
8月～9月	期末試験、帰国
10月～12月	
2017年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	
2018年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	まず、やはり英語を完璧に話せるようになりたいという思いがあったことです。英語を何不自由なく話せるようになるには長年英語を母国語とする国で生活する必要があると考えていました。また、自分の学んでいるコンピュータサイエンスはアメリカカリフォルニア州のシリコンバレーを中心にとっても栄えている学問であり、世界を股にかけるようなテクノロジー系の企業の本社も多くあり、実際に現地の大学でレベルの高い学生の刺激を受けながら学んでみたいという思いがありました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	留学先で一番問題となるのはもちろん語学力で、語学力を上げることを目的に留学するのですが、出発前からどれ程の語学力があるかどうかで現地での生活は大きく変わってきます。スピーキング能力やリスニング能力は現地での生活を通して成長させることが可能ですが、そこで語彙がたくさんあれば助けられることが多々あると思います。なので、留学前にどれだけ語彙力を増やすか、ということが大きく語学力を上げていく鍵を握っていると考えております。
この留学先を選んだ理由	私の専攻はコンピュータサイエンスで、将来は世の中で役立つような技術を開発するような職に携わりたいと考えております。憧れとしている世界的に有名なテクノロジー系の企業はアメリカカリフォルニア州のシリコンバレーと呼ばれる地域に多く集結し、世界中から優秀な学生が集まっています。UC バークレーはコンピュータサイエンスにおいて非常に有名な大学で、この大学でレベルの高い仲間から刺激を受けながら学びたいと強く思いました。
大学・学生の雰囲気	世界大学ランキングでは日本の東京大学を大きく上回り上位に位置するだけあって非常に優秀な学生が多かったです。親切でフレンドリーな学生が多く、私は英語がうまく話せないのですが、私のつたない英語をゆっくり理解してくれ助けられることが多くありました。大学のキャンパスはとてつもなく広大で伝統ある校舎から近代的な校舎まであり、数多くの図書館にスポーツやトレーニングができるジムも備えられており、構内の施設はとてつもなく充実していました。
寮の雰囲気	私が滞在していたI-Houseは歴史が長く趣深いですが屋内は綺麗でとても居心地が良かったです。アルカトラズ島、サクラメントなどへのオプションツアーも豊富でバークレーから離れた場所へ足を運べる多くの機会が与えられました。また、週に一度行われるコーヒアワーという時間には学生同士が交流しあうこともでき、国際交流もたくさんできました。また、寮にはビリヤードや卓球の楽しめるプレイングルーム、ギターやピアノの弾けるミュージックルーム、集中して勉強できる図書館など充実した施設があり、24時間利用可能でした。
交友関係	留学当初は自分の消極的な性格から友人を作るのにとても苦労しました。ルームメイトはドイツ人でとても親切でした。彼は私の拙い英語をいつもゆっくりと理解してくれたので助けられました。しかし、留学する日本人によくあることだと思うのですが、日本人と母国語で話している間はとてつもなく落ち着くので日本人同士で固まってしまうことがよくありました。せっかくの留学の機会なので無駄にしたいくないと思い、日本以外の国からの学生と多く交流しようと何度も務めました。しかし、なかなか難しかったです。
困ったこと、大変だったこと	私はアメリカでの生活に憧れを持っていたのですが、いざ長い期間滞在してみるとやはり日本が素晴らしい国であることに気づかされます。街を歩けばなんでも手に入るコンビニエンスストアがあり、夜中裏通りを一人で歩いても何も問題はありません。アメリカでは、欲しいものが欲しいときにすぐには入りませんし、治安もあまりよくないので常に自分の身は自分で守りながら行動せねばなりません。自分が気がつかないところで気を常に張っているのが疲れてしまうことが多々ありました。
学習内容・勉強について	私が履修していたcs61Aという科目はUCバークレーでとても有名で難しいものでした。春学期や秋学期などの通常期には数千人の学生が履修するほどの名物授業でした。課題はとてつもなく難しいものが多く何度も行き詰まり自力で解くことはとてつもなく困難だったのですが、数多くの自由参加の補修などを有効活用したり、友人に尋ねたりして乗り切ることができました。また、今話題のプログラミング言語 Python を一から習得して最終的にはそれを応用させたプロジェクトにも取り組みました。
課題・試験について	課題はレベルが高いだけでなく、ほとんど毎日出題され量も多かったのがとてつもなく大変でした。一から学んだプログラミング言語を利用してそれを応用してゲームを作るプロジェクトができたときはとてつもなく嬉しかったです。試験は中間試験と期末試験の二度あって決して優しいレベルではありませんでした。また試験には、誰ともかぶることなく一番低い整数を書いた生徒が点数を獲得できるなどというボーナス問題なども含まれており、この大学らしさが出ているなと感じました。

大学外の活動について	3ヶ月間学業だけに集中していました。今思い返せば自分の興味のあるサークルや部活を探して参加してみるべきだったなと思います。私は将来世界的なテクノロジー企業で働きたいという思いがあるのですが、知り合いが Yahoo!の本社で働いており、ある休日車内を案内してもらい見学することができました。日本の会社とは大きく異なり、とても自由な雰囲気というのが印象的でした。自分の高いモチベーションに繋がったので良い経験でした。
留学を志す人へ	留学はしたくても全員が全員できるわけではありません。留学できることに感謝し、そのこれ以上ないチャンスを最大限に活用して自分を大きく成長させてください。大切なのは、より多くの世界の学生と交流することです。日本人と話すとても落ち着くとは思いますが、日本人同士集まりすぎないように注意することです。あとは留学前までにできる限り自分の語学力を上げることが必要だと思います。語彙力を上げる、英文法の復習をするなど、日本でできることは必ずやってから渡航するようにしましょう。

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中		CSLAB 授業		CSLAB 授業	お出かけ	自習	お出かけ
	CSLEC 授業	CSLEC 授業	CSLEC 授業	CSLEC 授業	お出かけ	自習	お出かけ
午後	Guitar 授業		Guitar 授業	Guitar 授業	お出かけ	自習	お出かけ
	Guitar 授業	CSDIS 授業	Guitar 授業	CSDIS 授業	お出かけ	自習	お出かけ
夕刻	友達と夕食	友達と夕食	友達と夕食	友達と夕食	友達と夕食	自習	自習
夜	自習	自習	自習	自習		自習	自習